

建築版	施工段階	設備工事： 電力、通信、 上下水道、ガス引込計画	電気	○	設備工事 ポイントシート (1-3)
1-3	着工時		空調	—	
			衛生	○	
			その他	—	

電力、通信、上下水道、ガスの引込計画は、建築工事への影響も大きく調整が重要です。また、掘削中に地中埋設配管や電線等を損傷させてしまうことがあります。その結果、周辺地域のインフラを遮断したり停電させ、大きな損害を生じる可能性があります。事故を防ぐため、埋設配管の事前調査を早期に慎重かつ確実にを行う必要があります。

ポイント

■設計図書及び現地の確認

- ・電力、通信、上下水道、ガスなどの引込について、設計図記載のルートと現場の整合性を調査します。
- ・特に埋設配管の位置、深さについては、所轄の電力会社、上下水道局、ガス会社等に事前に問い合わせ、台帳等を確認します。
- ・下水道本管と敷地内の汚水、雑排水、雨水排水の系統を同一にするか、否かを確認します。

■検討事項について

- ・引込計画については仮設から本設への切替え時期を把握したうえで、引込工程を決定します。
- ・山留やタワークレーン、外部足場等、仮設インフラ、各種配管、柵、ハンドホールなどの位置関係と施工時期は建築・設備での十分な検討が必要です。場合により、設備の埋設物を建築工事より先行工事することも検討します。

■諸官庁手続きについて

- ・引込時期、申請時期の手続きに不足がないか確認します。

先輩アドバイス

- ・設計図書に記載の内容と現地の埋設配管等の状況は異なることが多く、設計図書を鵜のみにせず現地を確認することが大切です。道路内埋設のインフラ状況により、予定の位置で引込みができない場合もあります。状況によっては試掘を行い、確認しましょう。
- ・埋設配管の上に重機等が往来した場合、埋設配管が破損することがあります。事前に総合仮設計画を確認し、配管ルートや施工時期を調整しておきましょう。

チェック項目

- 施工前に所轄の電力会社、通信会社、上下水道局、ガス会社等への届け出は済んでいますか。
- 敷地全体の排水計画、最終柵と公設柵との管底レベル差、接続配管の勾配を確認できていますか。

失敗すると...

- ・敷地内の排水配管が長くなり埋設深度が深くなると下水道本管に接続できない場合があります。

共通管理項目	合理化 省力化	施工性 向上	品質・性能 向上	工期 短縮・圧縮	コスト削減 (材料)	コスト削減 (労務)	設備 先行工事	工事区分 見直し	責任所在 明確化
		—	—	○	○	—	—	○	○
備考	参 考 文 献 :						初版発行	2020年12月	
							改訂		